

SAJ

サバーイ通信

公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌
サバーイは「幸福」を意味するクメール語です

Vol.22

2020.6 月号

カンボジア DVD事業のスタジオで リモート授業



新型コロナウイルスの感染防止のため、SAJの支援しているカンボジアやバングラデシュでもロックダウンとなったり学校の休校、国境封鎖や移動制限など封じ込めに奔走しています。そんな中でカンボジアDVD事業のスタジオでリモート授業が開始されました。

2018年より開始した都市部と地方の教育格差を是正するため、優秀な教師の授業をスタジオで録画し、DVDとして地方の高校に配布する事業のスタジオが、学校に行けない子どもたち向け授業をスタジオで録画し配信するプロジェクトに協力することになりました。

SAJの活動がカンボジアの教育事業に欠かせないものとなっています。



日本でも緊急事態宣言を受け、休業要請、学校休校、自宅待機を余儀なくされています。

世界的な経済状況の危機が貧困層や弱い立場の人間に過酷な状況に陥ってしまいます。

未来の自分を想像し今をどう生きどう行動していくか、これからも変わらず途切れることのない支援を続けていく大切さを痛感しました。

皆様からの会費・寄附は「1円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

会費

会員会費(年額)1口 12,000円
 法人会費(年額)1口 120,000円

一般寄附

用途は指定しないで
 金額も自由な寄附

指定寄附 (使い道を指定する寄附)

- 学校建設寄附(1) 一口寄附(一口100,000円)、(2) 一棟寄附 ●ふれあいサポートプラン(一口12,000円から)
- 食の支援寄附(金額自由) ●孤児院運営寄附(金額自由) ●孤児院運営会費(12,000円/月)
- 孤児院里親会費(12,000円/月) ●奨学金寄附(金額自由) ●学校運営寄附(バングラデシュ)(金額自由)

詳細はSAJ事務局までお問い合わせください。

支援活動のご報告 (指定寄附別) 支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします！

孤児院運営支援

クラコー地区長 来園

新型コロナウイルスの今の状況と、カンボジア全体的話、それに伴っての帰省が出来ないという話を、園長の計らいで、クラコーの地区長さん達に来ていただきました。子どもたちも真剣に話を聞いていました。(柚木)



園内にてクメール正月

帰省が出来ずに落ち込んでいた皆を元気づけるために、職員がゲームを仕切ってくれました。ドッジボールやバスケットボールみんな必死で頑張りました。夜はカラオケ大会で大好きな歌を披露しました。休み返上で協力してくれる職員たちに感謝です。また子どもたちの食べたいリクエストを集めてバーベキューをしました。みんな準備からしっかりお手伝いして、楽しく美味しくいただきました。帰省が出来なかった10日間、子どもと職員の笑い声が楽しそうに響きました。日本の皆さんに感謝いたします。(柚木)



お米支援 & ふれあいサポートプラン

プノンペン事務所報告

普段4月にはお米支援とふれあいサポートプランの文具や制服を配布します。でもコロナウイルスの影響で学校はまだまだ休みが続いています。配布の準備は出来ていますが、学校の再開状況を待っています。



文房具類



制服



購入した品

学校運営支援【NDMSC】

政府の非常事態宣言発令された翌日3月24日から全校生徒自宅学習期間として対応。教職員は4月7日のロックダウン発令まで出勤し、業務や生徒・保護者対応を実施していたが、外出禁止要請が発令されてからは各自宅にて業務を実施しています。

□自宅学習期間中の勉強方法

a. ネット環境が整っている生徒(JIDSとNDMSC有料生徒)
 バングラデシュのネット環境を考慮し、オンライン授業のような双方向の授業は難しいと考え、教員が授業の撮影し、その映像を配信する方法で対応しています。

フェイスブックの機能を使用し、クラスごとのグループを作成。教員は事前に作成したシラバス通りに自宅で授業の撮影をし、フェイスブックのクラスグループに配信しています。フェイスブックのコメント欄では出欠席管理だけでなく、生徒との質疑応答や提出物を添付することも可能であり、円滑に進めています。

b. ネット環境がない生徒
 クラス担任は2週間に1度各家庭に電話をかけます。その際、教科担当者から集約した2週間分の課題や宿題の指示をしています。勉強状況や生徒の状態と保護者とも話をして状況確認するように指示しています。

インターネットでの寄附が、便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただくことができます。寄附の種類も選べます。

<https://ssl.schoolaidjapan.or.jp/kifu/>

こちらから



会費・寄附金のお振込み

●郵便局：00140-5-345903

●三井住友銀行：浦田支店(普) 4353626 口座名：公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。

※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇処置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。

理事評議員会の報告

SAJは、すべての理事で構成され業務に関する決定を行う理事会と最高議決機関である評議員会が毎月開催されています。

《構成メンバー》

- 代表理事：渡邊美樹
- 理事：鳥井親一、清水和雄、武長彩子、高橋亮
- 業務執行理事：青木茂雄
- 評議員：大江光正、清水邦晃、佐藤誠、戸澤昌夫、大城慶正、白柳直美
- 監事：片山進平、小田剛志

第204回理事評議員会が4月27日に緊急事態宣言下により書面での開催となりました。

【報告事項】

- 報告1：新型コロナウイルスに対するカンボジアの状況報告
- 報告2：新型コロナウイルスに対するバングラデシュの状況報告
- 報告3：孤児院報告 近況報告
- 報告4：プノンペン事務所報告
- 報告5：SAJ Farm および 石鹸事業報告

※ 3月度会費寄附募金状況、3月予算実績報告は次回になります。

(理由) 監事(税理士)の事務所が緊急事態宣言によりテレワークとなっているが、公益法人用の会計システムがテレワークに対応していないため。

以上につき、資料送付による報告となった。



SAJ Farm

SAJファームは、孤児院の子どもや、将来的には農業を志すカンボジアの若者に技術を習得させるための実習場(農場)として、2010年にスタートさせた就労支援事業です。

恵の雨

カンボジアは5月に入り、雨が少しずつ、降るようになってきました。昨年の12月～4月までの乾季は100日以上降雨もなく、農場の池の水も枯れ始めていました。5ヶ月間は池の水を必死で撒き続け、レモングラスを枯らさずに守り抜きました。そして、雨が定期的に降るようになり、レモングラスは緑を取り戻し、背丈を伸ばし、収穫量も増えました。毎日何時間もスタッフ総出で水撒きをしてきた事を考えると、自然の雨は、本当に天の恵に思えてきます。これからはレモングラスの収穫量も増えてきますので、スタッフ一同、レモング

ラスオイル、ティーをバリバリ作っていき
たいと思います。

(農場長 酒井)



孤児院職員レクネターの結婚式!!



みんながおめかししてドレスアップするので、誰が主役かわかりません。今月は職員ピーロンが婚約します。孤児院は今結婚ラッシュです。皆さんお幸せに!



ティアラーの孤児院退園

入園して1年も経たなかつたのですが、孤児院の副リーダーも務め、明るく積極的な性格で、周りに対する影響力も大きかったように思います。自分の決めた道を自分の力でしっかり歩いて行って欲しいと思います。彼女の幸せを心から応援します!



代表理事メッセージ ドンノバット

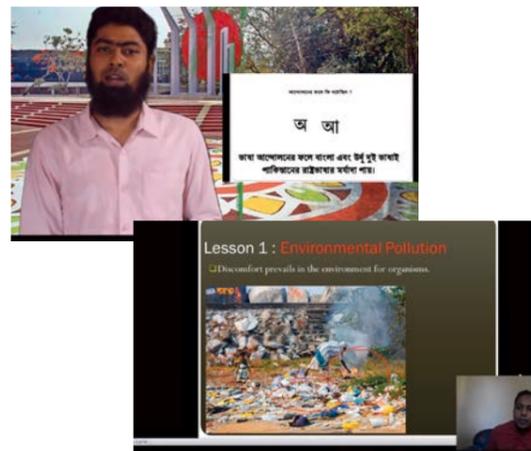
代表理事 渡邊美樹

カンボジア以上にコロナの影響が甚大なのがバングラデシュです。5月24日時点の累積感染者数は3万3,610人、うち死者は480人と発表されています。3月23日にバングラデシュ政府より非常事態宣言が発令され、全ての政府機関やオフィスの業務停止、国民には自宅待機が要請されました。SAJが運営するナラヤンクル・ドリーム・モデル・スクール&カレッジ (NDMSC) も、3月24日より休校となりました。

そのような状況において、NDMSCでは、各教員が自宅で授業を撮影し、その映像をフェイスブックで生徒に配信しています。私も、生徒と保護者にメッセージを配信しました。フェイスブックのコメント欄を活

用し、生徒たちの進捗管理、質疑応答、提出物の添付も行っており、年間のシラバスに沿った授業が滞りなく行われています。インターネット環境のない貧しい家庭の生徒には、クラス担任が生徒に定期的に電話をかけ、教科書や問題集のページを指示するなど、自宅での学習を支援しています。保護者とも話をし、生徒の状況を確認しています。

日本人の校長も入国できず、休校解除の目途もたえない中で、現地の教職員の結束は強まり、生徒のために一致団結してこの危機を乗り切ろうと頑張ってくれています。そんな教職員達を、私は誇りに思います。



生徒に配信された映像

支援者様メッセージ (有)喜一プロジェクト 取締役 草野真由美 様

私にはカンボジアで暮らす8歳の子供がいます。名前は「ピーロン」、2年前から新しく家族の一員となりました。今はカンボジアの「夢追う子どもたちの家」で生活しています。手紙のやり取りの中で「ママに会いたいです」と言ってくれたことは一生の思い出です。昨年8月、ピーロン君に会うことができました。短い時間でしたが、初めて会うピーロン君はとても愛おしく、無邪気でした。今年の1月に彼のもとを訪れた時には、今からピーロン君に会えると

いう喜びから思わず涙が溢れました。遠く離れたところで私を持ってきている、そんな彼の存在が、大きな喜びと幸せを与えています。

こんな貴重な経験を与えて頂いた渡邊代表、現地でお世話頂いているスタッフの皆様方、ピーロン君とのやりとりをサポートして頂いているSAJの皆様へ感謝の日々です。今年の8月にも愛する息子に会いに行きます、必ず！



ご支援いただいた寄附

2020年

4月の寄附金合計 4,637,262円

(内訳) 会員会費	1,889,617円
一般寄附	1,035,308円
指定寄附	1,712,337円

募金箱回収ありがとうございました

募金箱回収してくださった方(順不同、敬称略) ※法人名、団体名は2019年4月現在のものです。

- SFPホールディングス株式会社
- SFPホールディングス 94店舗
- 全国賃貸ビジネス協会
- ラヴィーレ広島 ひかりヶ丘
- 濱尾 和

募金箱の回収は、郵便局や銀行での振込みまたは、SAJ事務局へのご持参にて承ります。

今後の予定

6月30日

SAJ 総会

7月27日

理事評議委員会

これまでの実績

いただいた寄附金の累計額
(2001年度～2019年度)



30億

8,223万5,392円

現在、SAJの建設した
学校で授業を
受けている児童・生徒の人数
(2020年3月現在)



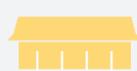
96,705人

SAJの建設した学校で
お米を受け取った
児童数の累計
(2006年度～2019年度)



10,527人

建設した学校の合計
(2001年度～2019年度)



308校

ふれあいサポートプランで
文房具や制服を受け取った
児童数の累計
(2003年度～2019年度)



14,494人

SAJの建設した学校で
朝給食を支給された
児童数の累計
(2006年度～2019年度)



117,132人

編集後記

新型コロナとの闘いも長期戦を余儀なくされていますが、新しい生活習慣を取り入れ安全に活動できるかを模索しながら、今を楽しく力強く乗り越えた未来は明るくなっていることを祈りつつ前に進んでいきたい。そのために原点に戻り1円でも無駄にしない活動を心掛けてより一層の教育支援の輪を広げていきたいと思いをしました。

公益財団法人 School Aid Japan
本部 〒144-0043 東京都大田区羽田1-1-3
TEL: 03-5737-2773
FAX: 03-5737-2793
Eメール: sajinfo@schoolaidjapan.or.jp
http://www.schoolaidjapan.or.jp